

前橋協立診療所

11月21日(土) 第3回遺族会の報告です。

対象者43名のうち9名の遺族12名、OB1名、関係するスタッフ11名(訪看3名、ケアマネ4名、ヘルパー2名、施設職員2名)診療所スタッフ9名、新井心 Dr.にも来ていただき、総勢33名の参加で行われました。▼遺族の方一人ひとりに、亡き夫、父、母への今の思い、看取りでの後悔と今だ癒えない悲しみ、故人との思い出など涙ながらに語っていただきました。▼終了後のアンケートのなかで「毎日思い出してメソメソしてしまう。自分だけでないと少し安心した」「つらいのは自分だけでないということがわかった。話を聞いてよかった。みなさんと思いは一緒」「泣いてもいいんだ。何回も思い出して話してもいいんだとわかり安心した。でも、まだ死を認めることがむずかしいです」「私よりもっともっと長期間による介護など大変ご苦労された方の話しなどお聞きし早く新たな一歩をとりました。」などの感想が聞かれました。▼この遺族会で、今の思いを語り他の遺族の方の話を聞く中で、少しでも前向きになれる場になればと感じました。▼今回の遺族会では、第1回から参加していただいている A 様に司会進行をお願いしたところ、快く引き受けていただきました。遺族会 OBの方がスタッフとして会の運営に携わっていただき、事前に打ち合わせをしたり、会の進行についての意見をいただいたり、一歩踏み出せた気がしました。いずれは遺族の OBの方々が中心となって開催されるようになればと思っています。